

令和4年度のP T A会長を務めさせて頂いております、辻本修と申します。日頃よりP T A会員の皆様にはP T A活動に御理解と御協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

三年前に一年次部会長をお受けすることになつてから、P T A役員の皆様と仕事に携わらせて頂き、昨年四月より会長職という大役を仰せつかれ、早いものでまもなく一年を迎えるようとしています。この一年も新型コロナウイルス感染症により、学校生活では生徒の皆様は一番感じられているのが当たり前の日常生活と感じている日々が続いているのではないかと思います。

ただ少しづつ、学校行事も再開されており、現三年生、そんなお子様の様子を保護者の皆様が催行されたことは、生徒はもちろんのこと、保護者の皆様におかれましても、高校生が催行されたことは、生徒はしぶりにお子様の楽しそうな笑顔を垣間見ることができたのではないでしょうか。これ

令和4年度のP T A会長を務めさせて頂いております、辻本修と申します。日頃よりP T A会員の皆様にはP T A活動に御理解と御協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

三年前に一年次部会長をお受けすることになつてから、P T A役員の皆様と仕事に携わらせて頂き、昨年四月より会長職という大役を仰せつかれ、早いものでまもなく一年を迎えるようとしています。この一年も新型コロナウイルス感染症により、学校生活では生徒の皆様は一番感じられているのが当たり前の日常生活と感じている日々が続いているのではないかと思います。

ただ少しづつ、学校行事も再開されており、現三年生、そんなお子様の様子を保護者の皆様が催行されたことは、生徒はもちろんのこと、保護者の皆様におかれましても、高校生が催行されたことは、生徒はしぶりにお子様の楽しそうな笑顔を垣間見ることができたのではないでしょうか。これ



## 元の日常生活

P T A会長 辻 本 修



全国高等学校PTA連合会大会

# 都留高PTAだより

令和5年3月1日発行  
都留高校PTA  
印刷 勝大月プリント社

今年も新型コロナウイルス感染症

対策をする中で教育活動を実施させていただきました。PTAの皆様には、平素よりコロナ対応を含め、本校教育活動に御理解、御協力をいただき改めまして感謝申し上げます。

またPTA活動では八月二十

五日、二十六日の二日間、石

川県金沢市で第七十一回全国高

等学校PTA連合会大会の全

国大会が三年ぶり開催され、

校長先生と参加させて頂き、

多くの高校のPTA役員の方

と接し、元の日常生活が身近

になってきたと感じることが

できました。

二〇二〇年一月十五日に日本で初めての新型コロナウイルス感染者が確認されてから三年を迎え、まだまだ予断を許さない状況ではありますが、確実に少しずつ、行動制限を含め、元の生活に戻り始めています。一日も早く普通の高校生活が送れる日が来ること、また生徒の皆さんのがなる成長を祈念しまして一年間のご挨拶とさせて頂きます。

「何としても子供たちを修学旅行に連れていくてあげたい」という言葉、強い気持ちを私自身、何度も打合せに同席させて頂きました。またPTA活動では八月二十

五日、二十六日の二日間、石川県金沢市で第七十一回全国高

等学校PTA連合会大会の全

国大会が三年ぶり開催され、

校長先生と参加させて頂き、

多くの高校のPTA役員の方

と接し、元の日常生活が身近

になってきたと感じることが

できました。

剛健、自学進取ですが、この二つの校訓の指示示すところは、飾り気のない誠実な心を持ち、人としての正義のもとに、何ものにも臆することなく、己を信じるところに向かって積極果敢に挑戦し、自ら主体的学びを継続することです。この校訓は、今昔変わることなく求められる、人としての社会を担う若者達にふさわしい校訓であると考えます。

昨今、人口減少や情報化、グローバル化といった社会的変化が加速度的に進展していく。予測困難な時代であり、答えのない問い合わせなど立ちはだかうのかが問われています。加えて、新型コロナウイルス感染拡大により一層先行きが不透明であり、世界は、そして日本は、多くの試練の中になります。予測困難な時代であり、旅行の変更など何をとっても賭けの様なもので、先生方への本來は必要のない負担も増えています。修学旅行に限らず、学校行事の縮小や中止をすることは簡単ですが、生徒

自身がその気になることが大切であり、必要に応じて導くこと、あと押しをすることが大人の役割であると考えます。代わりにやつてしまったりすべてを教えてしまったりする方が楽な場合があるかもしれません。しかしながら、それでは主体性は育まれません。子どもたちを信じて、見守ること、時に待つことが、主体的行動力の向上に繋がり、子どもたちの成長のために、可能性の拡大のために必要なことであると考えます。

主張的行動力の育成、向上をはじめ、子どもたちの成長のためには家庭や地域の御協力を不可欠です。学校、家庭、地域が、それぞれの役割を確認し、互いに協力して補うことが肝要です。そのような意味でも、学校、家庭が一体となり、共通理解のもと、子どもたちをより良い方向へ導くことができると考えます。

保護者の皆様におかれましては、改めまして本校スクールポリシーを御覧いただくとともに、引き続き、本校の教育活動に御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

当たり前のことですが、前田前野がある。前田前野は記憶や学習に深く関係し、特に初めて体験する作業などで、慣れてくると別の脳の領域に任されるようになる。また、メディアにも今もなお翻弄され続けています。未来を創造することすらできないのか?といふ疑心暗鬼の精神状態が五一

ドバックされる。知る恐怖の中に脳の活動性の調節に重要な役割を果たす

ことすら難しくなり、疑心暗鬼にもなった。未来を創造することすらできないのか?といふ

ことすらできないのか?といふ

ことすらできないのか?といふ

ことすらできないのか?といふ

ことすらできないのか?といふ

## 子どもたちの成長のために

・学校長 廣瀬浩次



社会での脳の働きとウイルスによる社会性の醸成  
三年次部会長 佐藤洋

佐藤洋

# 年次コラム

## 女性部の活動

女性部長 天野明美

今だからこそ  
二年次部会長 小宮広督

家庭教育  
一年次部会長 佐藤義栄

最近、子どもが思春期を迎えたことをきっかけに、会話が噛み合わなかつたり、変に気を遣つて機嫌をとつてしまふことがあります。子どもとの関係にイラストと試行錯誤の日々が続きます。人生経験の浅い子どもにとって、親は過保護や過干渉をして否定的になりがちなものです。家庭での教育には、自立した人間に育てるという目的があります。

また、学校や地域と連携を深めていき協力して子どもを見守ることも重要なことだと

あります。そのためには、自分で考え、自分の最適を選んで進もうとする意志と自分は価値がある存在なんだという自己肯定感をもてるようになります。

そして、そう言つた子どもを育てるために親がすべき事は、子どもの力を信じて見守り、自主性を育て、互いに意見や立場を尊重しあう関係になれるように努め、親子間に信頼を作る必要があると考えます。

また、学校や地域と連携を

